

6/25
(土)



▲ ボランティアの説明を聞く参加者

珍しい昆虫や植物を満喫

貴重な自然環境が残る板山高根湿地で「自然観察会」が開催され、申し込みをした17人が参加しました。参加者は講師や板山高根湿地環境ボランティアの説明を聞き、日本で最小のトンボといわれている「ハッチョウトンボ」や「モウセンゴケ」「ミミカキグサ」といった珍しい昆虫や植物を見て回ったり、写真を撮ったりしました。参加者は「今年は上手な写真を撮れた。来年もぜひ参加したい」と話しました。

活動を通して青少年の健全育成を

第53回青少年団体等表彰(団体の部)を受賞したボーイスカウト阿久比第1団の西脇全宏さん、大村浩嗣さん、関真人さんが町長を表敬訪問しました。今回の表彰は、長年のボーイスカウト活動を通じて、青少年の健全育成に貢献した功績によるものです。受賞について西脇さんは「今後も活動を通して、青少年の健全育成に努めたい」と抱負を語りました。

6/27
(月)



▲ 左から大村さん、町長、西脇さん、関さん

6/27
(月)



▲ 日本一を目指して頑張ります

中学生最後の全国大会に向けて

文部科学大臣杯第46回全日本中学ボウリング選手権大会(7月25日～27日、キョーイチボウル宇治で開催)に出場する高本聖菜さん(阿久比中3年)が町長を表敬訪問しました。祖母に教えてもらったことをきっかけにボウリングを始めた高本さん。競技歴5年目ながら今回が4回目の全日本大会出場となります。「今年が中学生として最後の大会。日本一になりたい」と力強く語りました。

— 今月号の表紙 —

ふれあいの森に新遊具の“ペダルカー※”が登場しました。遊びに来た子どもたちは、中央広場に並ぶピカピカのペダルカーに興味津々。早速乗り込み自分でこいで運転したり、家族に押しってもらったりして楽しんでいました。運転した子どもは「本物みたいでかっこいい。運転して楽しかった」とうれしそうに話しました。

※ペダルカーは未就学児であれば誰でも利用できます。

